

# One MIZUHO

未来へ。お客さまとともに



## ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年4月より執行役社長 グループCEOに就任いたしました坂井辰史でございます。株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

取締役  
執行役社長 グループCEO **坂井辰史**

来るべき時代において、  
「お客さまから今まで以上に必要とされ頼りにされる、  
より強力で強靱な金融グループ」を目指します。

**Q1** >> 就任初年度の取り組み方針を教えてください。

**A** 「構造改革への着手と速やかな遂行」「中期経営計画の完遂」「次期システムへの移行」という3つの重要な課題に全社一体で取り組むことで、『反転攻勢』に出る一年にしたいと考えております。

厳しい収益環境や経済・社会の大きな構造変化を踏まえ、昨年度に公表した抜本的構造改革\*に着手してまいります。例えば、本部人員の効率化と営業現場へのシフト、採用数のコントロールといった組織・人員の最適化や、銀行・信託・証券の共同店舗化等によるチャネルの再構築等を実行に移してまいります。あわせて、

最終年度を迎える中期経営計画に掲げた方針をやり遂げることで、「基礎的収益力」の強化や経営の安定性確保を図ってまいります。また、次期システムへの移行につきましても、最重要の経営課題として高い緊張感をもって取り組んでまいります。

\*詳細は7ページをご参照

**Q2** >> 2018年度上期決算はいかがでしたか？

**A** 親会社株主純利益は年度計画に対し、進捗率は63%です。

2018年度上期の業績につきましては、顧客部門にて、金利収支が海外における貸出増加を背景に増加したほか、非金利収支も国内外で大幅に増加しており、これまで取り組んできた「基礎的収益力」の強化が効果を見せ始めております。

この結果、親会社株主純利益は3,593億円となり、年度計画5,700億円に対し63%の進捗となっております。また、自己資本につきましては、普通株式等Tier1比率（その他有価証券評価差額金を除く）は10.41%となりました。